

会社概要

商号 株式会社リーフテック

設立 1998年 7月 (平成10年)

資本金 10,000,000円

所在地 本社 〒561-0846 大阪府豊中市利倉東 1-1-4-305

TEL06-6867-2855

豊中事務所 〒561-0802 大阪府豊中市曽根東町 5-9-3-205

TEL06-4867-3835

代表取締役 小林 肇

業務内容 1. 下水道管渠計画及び実施設計の全般業務
2. 上記関連の図面作成、構造計算、耐震設計、数量計算等の部分受託業務
3. 業務関連・積算関連のソフト開発及び販売

弊社使用ソフト (市販ソフト)

- ・ AutoCad2014、AutoCad2014LT (図面作成)
- ・ Pipe Network (縦断図作成・流量計算)
- ・ Civil Plaza シビルプラザ (推進力、仮設土留、薬注、管基礎、ライフプレート、ボックス耐震計算)
- ・ MightyExcel 建設 calcs 支援システム (耐震計算全般、水路・特殊人孔構造計算)
- ・ Docuworks Desk Vr.7 (図面、文書管理データベース)

弊社使用ソフト (自社開発ソフト)

1. 管渠開削工設計積算ソフト (Excel VBA)
 - ・ 開削全般設計書作成 (国交省下水道歩掛)
 - ・ 鋼矢板・軽量鋼矢板 打抜工法積算比較ツール
 - ・ 薬液注入数量・積算ツール
 - ・ 戸入れ工 水理計算・積算ツール
 - ・ 管布設工 工程計算ツール
 - ・ 鋼矢板・軽量鋼矢板・支保工・覆工板 損料算出ツール

2.推進工数量・積算ソフト (Excel VBA)

- ・小口径推進工法選定
- ・低耐荷力小口径推進工法 (圧入、ホガー)
- ・高耐荷力小口径推進工法 (仮管、ホガー、鋼管、泥水、泥土)
- ・中大口径推進工法 (泥水、泥農、泥土)
- ・鋼管ケーシング立坑・ライナープレート立坑
- ・マンホールポンプ数量・積算

3.その他

- ・地盤沈下関連計算 (シフェラー、リマフ、矢板引抜時)
- ・特殊マンホール構造計算
- ・水管橋 (パイプヒーム) 構造計算 (常時・耐震)
- ・各種水理計算
- ・管路掘削幅自動計算
- ・プラス工法 (沈理工法) 数量・積算
- ・流体輸送・物質収支計算
- ・軽量鋼矢板・建込簡易土留仮設構造計算
- ・各種参考文献・設計指針・設計マニュアル等のデータ化による報告書作成

得意とする業務内容

- ・下水道管路 (汚水・雨水) 基本・実施設計全般
工法比較、経済比較、各種構造計算、耐震計算、数量計算、積算資料、報告書
- ・下水道管路施設 耐震診断及び耐震補強設計
- ・業務関連ソフト (Excel VBA) の開発及び販売

* 次頁は、2004年に富士ゼロックス本社から取材を受け、同社ショールームのリーフレットとして採用されました。またコンピュータ雑誌等で紹介された当時の記事です。

株式会社リーフテック 様



スキャンもラクラク
スムーズです!

1

平面図をDocuWideで スキャンしてデジタル化。

標準でA0サイズ of 原稿を読み取ることができるので、官公庁から配布される大きな平面図もスキャンできます。DocuWorksファイルとしてスキャンされたデータは、TIFF形式に変換され、システムズナカシマ社のラスターベクター変換ソフト「ANDES ScanWave32」でベクターデータに変換されます。

傷みの激しい平面図も
デジタル化してCADで活用!

A3の縮小サイズでも出力できる
ので、ちょっとした打ち合わせ
にも、大変便利です!

A1サイズ5枚/分の 高速出力で業務効率UP。

A1サイズで5枚/分と出力もスピーディ。プロッターの出力の遅さに悩まされたり、配布される青焼きから第二原図をコピーする手間とコストから解放されました。

3



スキャンした平面図は
ANDES ScanWave32
でベクターデータにします。



2

CADデータとして 扱うことが可能。

ベクター変換されたデータは、CADに取り込まれ、製図に利用することができます。こうして、傷みの激しかった平面図もCADデータとしてハンドリングでき、業務のフルデジタル化を達成しました。

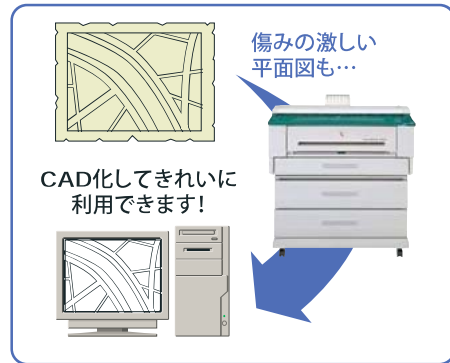
平面図などの紙資料を デジタルデータとして扱いたい!

管渠設計を受注すると、道路台帳(道路平面図)が関連機関から支給されるケースが多いのですが、これまではその第二原図を取って、その上から手書きで設計図を作成していました。また、既設構造物などの改修工事では、設計当時の古い紙資料を借用し、それを元に新たにCADで作図することもありました。このように、縦断面図、横断面図などは以前からCADでのデジタル作成を達成していたものの、平面図や既設構造図に関しては自社内処理でのCADデータ化が遅れていました。しかし、DocuWide 2050MFを導入してからは、紙の平面図や既設構造図をスキャンしてデジタル化した後、ベクターデータに変換することで、これらのCADでの利用が可能になりました。現在では、自社内処理100%を達成しています。

平面図をスキャンして デジタルでの活用を実現!

まず、紙図面をDocuWide 2050MFからスキャンして、DocuWorksデータに変換。それをTIFFに

変換してからシステムズナカシマ社のANDES ScanWave32でベクターデータに変換します。これに対してCADで製図を行うことによって、設計業務のフルデジタル化を実現しました。また、デジタルデータで平面図を扱えるようになったことで、最近では、取引先との打合せ用にデータをEメールでやり取りすることもあります。DocuWide 2050MFは、作業時間の短縮にも貢献していると言っていいでしょう。



会社紹介



株式会社リーフテック様

創業 平成10年7月
従業員数 4名
業務内容 調査・測量業務 / 下水道基本計画、
下水道事業認可設計業務など

リーフテック様は、汚水や雨水などの下水道の管渠(かんきょ)の実施設計および計画設計を行う少数精鋭のプロフェッショナル集団。設計コンサルタント会社を取引先とし、調査、計画、設計にあたることが多いとのこと。社屋を大阪府内に構えています。現在、排水設備の整備が進む近畿一円の業務を手掛けておられます。

【ソフト開発へ業務分野を拡大】

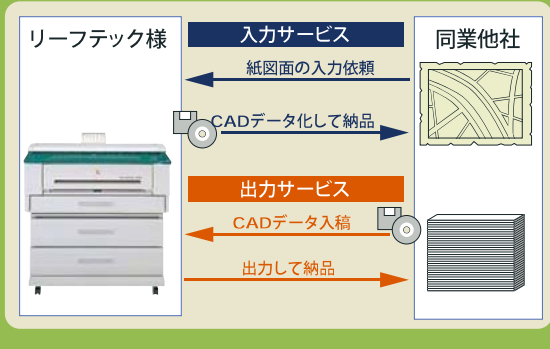
今後はホームページを開設し、そこでソフト販売を行おうと企画されています。設計関係のソフトは高価で取り扱いが難しいことに着目。そこで、これまでのノウハウを活かしたソフトを開発し、安価に提供したいとお考えになっています。

インクジェットのプロッターと比べ出力が圧倒的にスピーディ!

ネットワーク出力でつなぎ変えの手間をカット!
作業の効率化を実現しました!

インクジェットでは膨大な出力量に耐えられない!
(→解決) スピードへの不満解消、外注の出力費用を削減!
これまでは、インクジェットのプロッターを設計図などの図面の出力に使用していました。その画質には満足していましたが、あまりに出力スピードが遅かったのです。設計の規模によってさまざまですが、通常十数枚の図面3~4部ほど持って各機関と協議を繰り返し行います。納期時期が重なる年度末ともなると、設計原図の出力だけでも膨大な枚数となり、インクジェットでは終夜フル稼働の状態でした。
しかし、DocuWide 2050MFを導入してからは、スピードへの不満も解消しました。A1普通紙にプリンター感覚で必要部数を直接出力できますから、原図出力→必要部数コピーといった手間が省け、業務のスピード化を達成することができました。また、月間数万~数十万かかっていた、大型図面のコピーやデータ変換費用等の外注費もゼロに削減することに成功したのです。

優れたDocuWideの機能を活かして入出力サービスを展開!



DocuWide 2050MFを「生産設備」として活用!

現在、自社の業務にだけDocuWide 2050MFを利用していますが、その高性能を活かして、入出力サービスも行いたいと考えています。同業の他社から依頼を受けて、原図をスキャンしてベクターデータにデジタル変換したり、図面の出力を代行するなど、DocuWide 2050MFを「生産設備」として利用できないか模索しています。



代表取締役
小林 様

富士ゼロックスのトータル・ソリューション

2001年春、リーフテック様にはDocuWide 2050MF、DocuWorks、ラスターベクター変換ソフトのANDES ScanWave32をご導入いただきました。
DocuWide 2050MFは上位機種BrainTechと比べて安価で、しかもそれに負けない高性能。設置スペースも取らず、まさにSOHOや中小規模の企業にはうってつけのプロット/コピー/スキャン複合機です。リーフテック様にも「DocuWide 2050MFの実力を知るには、フェアなどで実際体験するのが一番」と高い評価をいただいています。
また、リーフテック様のLAN構築からパソコン導入までも富士ゼロックスにより行われています。プロッターの紹介、販売だけでなく、お客様へトータル・ソリューションを富士ゼロックスはご提供します。

●リーフテック様の導入システム

DocuWide 2050MF

図面のアーカイブソフト:DocuWorks
ラスターベクター変換ソフト:ANDES ScanWave32

パソコン導入・LAN構築

●ANDES ScanWave32について <http://www.systems.nakashima.co.jp/products/scanwave.htm>

「ANDES ScanWave32」は株式会社システムズナカシマ様からご提供する、低価格な手書き図面変換(ラスターベクター変換)システム。多彩な変換・編集機能を持ち、DXFやIGESなどの中間ファイル形式に変換することで、あらゆるCADでの使用が可能になります。



- 【特長】
- 汎用CAD並みのベクタ編集機能
 - 重ね合わせ表示機能
 - 部分変換機能
 - 文字の自動認識変換(OCR)機能
 - あらゆるCADで使用できる各種データ形式をサポート

販売: 株式会社システムズナカシマ

富士ゼロックス株式会社

本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22
電話: 03(3585)3211
www.fujixerox.co.jp

●この商品に対するお問い合わせは、以下の営業担当へ...

●富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターへ。

0120-27-4100

受付時間: 土、日、祝日を除く9時~12時、13時~17時東京本社。

フリーダイヤルは、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話できる電話機をご利用ください。